

## 令和元年度(2019年度)キャラバン・メイト養成研修(札幌会場)カリキュラム

令和元年12月17日(火) 於: かでる2.7 大会議室

時 間	内 容	目 的	講 師
9: 45～ 9: 50	<b>開会・主催者あいさつ</b>		
9: 50～ 9: 55  (5分)	<b>オリエンテーション</b> ○認知症サポーター100万人キャラバンとは ○北海道の取り組みについて ・メイトの位置付け ・地域におけるメイト養成目標人数、サポーター養成目標人数等 ・チームオレンジの概要について	認知症サポーター100万人キャラバンの概要 北海道の取り組み状況を確認  令和元年度新規事業の紹介	北海道保健福祉部 高齢者保健福祉課
9: 55～ 11: 05  (70分)	<b>認知症を理解する</b> ○認知症とはどういうものか ○認知症の症状 ○症状からおこる生活上の困難 ○認知症の診断・治療	「認知症サポーター養成講座標準教材」を用いて、認知症を正しく理論的に理解し、サポーターに伝えられるように学習する。	札幌市西区 介護予防センター西町 センター長 菊地 伸 (認知症介護指導者)
11: 05～ 12: 15  (70分)	<b>認知症の人への対応のしかた</b>	「認知症サポーター養成講座標準教材」を用いて、認知症の人の気持ちを理解し、適切な対応の重要性を学び、サポーターに伝えられるようにする。	
12: 15～ 13: 15	<b>昼 食 / 休 憩</b>		
13: 15～ 14: 55  (100分)	<b>認知症の人を地域で支える</b> ○認知症の人を支える ・公的な仕組み・サービス ・地域の仕組み・サービス・社会資源 ・地域ケアシステム  【グループワーク①】 こんなとき、どこにつなげたらよいか？ 「認知症SOS便利帳」作成 ----- ○認知症サポーターとは ○認知症サポーターができること ・地域でできること ・働く場面でできること ・児童、生徒などの場合	認知症の人を支えるための社会資源、ネットワークをおさえる。  「認知症サポーター養成講座標準教材」を用いて、サポーターの位置づけと、できることを確認する。	グループホーム・ デイサービスアウル 総合施設長 宮崎 直人 (認知症介護指導者)
15: 05～ 16: 45  (100分)	<b>認知症サポーター養成講座の運営マニュアル</b> ○キャラバン・メイトの役割等  【グループワーク②】 講座の展開に協力してもらう機関を洗い出す 「わが町の協力機関表」作成 ・対象者ごとの講座の概要 地域住民／職域／学校 ・サポーター養成講座開催の流れ ・サポーター養成講座の概要  【グループワーク③】 講座の対象者ごとにカリキュラムをつくってみよう	キャラバン・メイトの役割を確認し、認知症サポーター養成講座の展開について、協力体制、企画などの実務、講座のポイントなどを理解する。	
16: 45～ 16: 50  (5分)	<b>キャラバン・メイト登録について</b> ○登録手続きについて ○サポーター養成講座の実施について ○修了証書の交付  <b>質疑応答・閉会</b>	登録手続き、認知症サポーター養成講座の実施手続き等について説明	北海道保健福祉部 高齢者保健福祉課

〈メイト登録等についての連絡先〉

北海道保健福祉部高齢者支援局高齢者保健福祉課

TEL:011-231-4111(内25-668) / FAX:011-232-8308 / E-mail:hofuku.kouhuku1@pref.hokkaido.lg.jp